

## 寺尾中学校 「洗心無言清掃」の取組

感謝の心で学校をきれいに

清掃開始のチャイムが鳴ると、寺尾中学校の校舎内から話し声が消えました。「洗心無言清掃」の開始です。生徒たちは黙々と床を磨いています。生徒だけではなく、校長先生をはじめとする先生方も一緒に、黙って清掃をしています。

決められた場所をきれいにしたら、残りの時間は、各自が考えて見つけた場所を磨き始めました。ある生徒は壁を磨き、ある生徒は窓やドアのレールをきれいにしています。15分間の清掃時間後には、それぞれの場所がピカピカに磨き上げられています。

「洗心無言清掃」とは、清掃時間中、一言もしゃべらず、一心に学校をきれいにする清掃活動です。「洗心」という言葉には、校舎をきれいにするだけでなく、心も磨き上げるという意味も込められています。

「寺尾中学校の生徒たちは、学校に対する感謝の心を持って清掃を行っています。黙って一心に学校を磨き上げる姿が寺尾中学校の伝統となっており、生徒たちの自信にもなっています。今年3年生が新入生と一緒に清掃する期間を設けました。3年生は背中を手本を示し、新入生もその姿を見て一生懸命取り組み、伝統をしっかり受け継いでいます。」と、校長先生は生徒たちをたたえています。生徒に話を聞くと「この清掃を通して、校内のちょっとした汚れを見つけれ

ようになっただけでなく、友達の少しの変化にも気づくようになりました。」と心の成長について語ってくれました。

感謝の気持ちで学校をきれいにする「洗心無言清掃」。自らの心を磨き、心を表現する活動として現在、市内外の学校にも注目され、取り組みが広がっています。



すみずみまで磨いています。



自らきれいにする場所を探し、磨いています。

## 鯨井中学校 災害図上訓練(DIG)を行いました

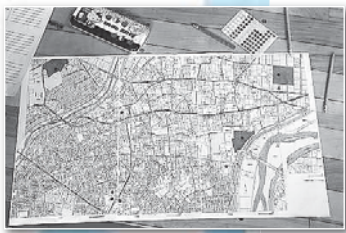
※DIGはDisaster(ディザスター=災害) Imagination(イマジネーション=想像力) Game(ゲーム)の頭文字をとって命名されたものです。また、DIGには「理解する。探究する。掘る。」という意味もあり、災害を理解する。まちを探究する。防災意識を掘り起こす。」という意味も込められています。

9月1日の「防災の日」に鯨井中学校で、川越地区消防局川越西消防署名細分署の協力を得て、災害図上訓練(DIG)を行いました。災害図上訓練とは、地図を用いて防災対策を検討する訓練のことです。

具体的には、下校中の午後4時ごろに大きな地震が来たらどのように安全を確保するか、また、地域の方にどのように貢献できるかをテーマに、班ごとに話し合いをしました。

手順としては、防災クイズに挑戦して地震についての基礎知識を習得した後、鯨井中学校周辺の地図に川や幹線道路を色分けして塗ったり、防災のために役立つ施設や、人が集まる場所に異なった色のシールを貼ったりして図面を作成しました。更に各班

で地域の防災上の弱点や、自分たちにできることなどを議論し、その内容を発表しました。自分の班では出てこなかった意見が出ることもあり、地域の情報をみ



地図に川や道路を色分けして塗ります



もし下校中に大地震が来たらどうするか考えます



班のみんなで考えた内容を発表します

んなで共有することができました。川越西消防署名細分署署長からも「一人ひとりが真剣に取り組んでおり、良い取組だった。」との講評をいただきました。災害は学校にいる時に起こるとは限らないので、家にいる時や登下校中に災害にあった時の身の守り方を考える良い機会となりました。

博物館 夏休み子ども体験

「親子で木をつかって遊ぼう」

8月23日に、川越建具商工組合かわごえたてぐしやうこうくみあいの方々に講師に招き、子ども体験教室を行いました。当日は、建具作りで使用する道具の使い方、説明やくぎ打ち、のこぎりの使い方、かんなのかけ方を練習し、子どもたちが、自ら創作したい作品を完成することができました。他にも博物館では、年間を通して、さまざまな子ども体験教室を実施しています。興味のある教室がありましたら、ぜひ、博物館にお越しください。



まっすぐ木を切ることができるかな？



きれいにかんながけをするぞ！



ドキドキ！穴あけがんばるぞ！

大規模改造工事

夏休み期間を中心に、老朽化した学校施設を改修するため、牛子小学校・福原小学校・城南中学校・寺尾中学校の4校で大規模改造工事を実施しました。

主な改修内容は、外壁改修や内部の塗り替え、ロッカーなどの家具改修となっております。また、トイレについては、便器の洋式化や床の乾式化など重点的に改修を行いました。

児童生徒が安全で安心かつ快適に学校生活を送れるように、今後も教育環境の整備・充実を図ってまいります。



福原小学校外観



福原小学校トイレ



学校給食センター見学会



8月20日、菅間学校給食センターにて「学校給食センター見学会」が開催されました。普段は見られない給食センターの調理場を見学することで、給食がどのように作られているかを知り、「学校給食」及び「食」に興味関心を持ってもらうことを目的として行っています。

当日は玄関でセンターマンやときもに迎えられる、実際に使用している機器の見学、模擬食材の洗浄や配缶体験、クイズ、スタンプリー、野菜の折り紙など子どもも大人も楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

見学者からは「大きなお釜をかき混ぜる体験が楽しかったです。(母)」「エアシャワーですごい勢いの風が出てくるのが楽しかった。」「さわってあてよう(クイズ)」で正解できたのがうれしかったです。など、たくさんのご意見ご感想をいただきました。



こぼさずすくわなきゃ！！



センターマンの鼻はお玉だったんだ！！



人参きれいにな～れ！！

コラム 渋沢栄一と川越

記念硬貨(埼玉版)のモデルとなった渋沢栄一は、武蔵国川越出身の豪商・伊藤八兵衛の娘・伊藤兼子と再婚し、晩年は時々川越を訪れていました。明治の川越大火で焼失した時の鐘の再建に資金援助を行うなどして、川越と深い関わりがありました。

